

学会/受賞報告書

第150回日本循環器学会東北地方会 YIA(Young Investigator's Award) 研究発表部門優秀賞受賞

循環器病態学分野 大学院生
青木 竜男

この度、日本循環器学会東北地方会において研究発表部門YIA優秀賞を受賞いたしました。社会人大学院で限られた時間の中で研究を行い、この賞を頂けたことは、自分にとって大いに励みとなりました。今後も精進していきたいと思えます。また、末筆ではございますが、ご指導いただきました下川教授、福本先生をはじめとする諸先生方に御礼申し上げます。



受賞研究：心筋の線維化が予後に与える影響 —心筋生検の有用性—

東北大学大学院循環器病態学分野

青木竜男、福本義弘、杉村宏一郎、及川美奈子、佐藤公雄、中野誠、中山雅晴、
下川宏明

背景：心筋の線維化は心不全進行に大きな役割を果たすが、その予後との関係は明らかでない。

方法と結果：2001年1月から2008年9月に当院で心筋生検を行った172例について、生検組織内のcollagen volume fraction (CVF)と予後の関係を検討した。LVEF>50%をA群、LVEF≤50%をB群とした。CVFは2群間で有意差を認めなかったが(1.83% vs 2.07%、P=0.44)、B群でのみ9例の死亡を認めた。多変量解析でCVFは全症例およびB群において死亡の有意な予測因子であった(全症例：HR 1.44、P=0.039、B群：HR 1.44、P=0.014)。

結語：心筋生検による線維化評価は予後予測に有用であり、線維化心筋が重要な治療対象である可能性が示唆された。